

線の美—日本画における線の魅力

会 期 2020年7月11日(土)～2020年9月6日(日)

日本画の特徴のひとつに、表現に線描を用いることが挙げられます。しかし、その線は単に物をかたどる境界線ではなく、対象物の質感や温もりをも表わすもので、日本画家にとって線の習熟は画家への第一歩でした。また、線描には作家の個性が表われやすく、上村松園・小林古径・安田靉彦のように、固有の線を持つ画家も少なくありません。

本展覧会では、日本画の線描に焦点を当て、さまざまな種類の線描や技法を紹介するとともに、同じモチーフで線を廃した「没線描法」による作品と比較展示するなど、日本画における線の力と意味、その魅力に迫ります。

会 場 高崎市タワー美術館 (〒370-0841 高崎市栄町 3-23 電話 027-330-3773)

開館時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

金曜日のみ 午前10時～午後8時(入館は午後7時30分まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)

会期中の休館日：7/13・20・27、8/3・11・17・24・31

観覧料 一般：500円(400円)、大学・高校生：300円(250円)

- ()内は20名以上の団体割引料金です
- インターネット割引券をご提示の方は2名様まで団体料金でご覧いただけます
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、中学生以下は無料となります

主 催 高崎市タワー美術館

助 成 一般財団法人 自治総合センター

後 援 高崎市教育委員会、朝日新聞社前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、J-COM群馬、FM GUNMA

関連事業 実施せず